

1年間で学んできたことを地域の皆さんに発表

—殿田小・五ヶ荘小合同学習発表会—



▲両校全員で発表した「半日村」の群読

二月十七日、市役所日吉支所四階の市民センターホールで殿田小学校と五ヶ荘小学校による合同学習発表会が行われました。

最初に両校が全員で「心と心で」を合唱した後、殿田小学校の各学年が、一年をかけて学んできた地元日吉のことや環境問題について発表しました。また、五ヶ荘小学校全員で金管楽器演奏と踊りを発表しました。最後に両校全員で「半日村」の群読を行い、統合を控えた両校で学習交流をしてきた成果を、訪れた地域の人たちに発表しました。

今回発掘されたのは、古墳時代の竪穴式住居跡や、奈良時代から鎌倉時代にかけての建物跡や溝などです。近くには池上遺跡（弥生時代から奈良時代の大規模集落跡）や野条遺跡（弥生時代から平安時代の集落跡）が確認されており、当時の生活様式を知ることができるようになっています。

二月一日、八木町室橋で発掘された遺跡について財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターによる説明会が行われました。

八木町室橋で古代の遺跡が見つかる



▲熱心に聞き入る考古学ファン



▲工事の安全を願う行われた鏡開き

平成十九年度末の完成に向けて路面の舗装や壁面、天井の補強工事が進められる予定です。

旧中世木公民館は、築百年以上経過しており、老朽化が進んだことから改築され、木造瓦ぶき平屋建て（建築面積一六一・四七平方メートル）で三帖の集会室のほか調理室などが整備されています。

二月二十五日、日吉町の中世木公民館しゅん工式が行われ、地元住民の方々や佐々木市長らおよそ四十人が集い、公民館の完成を祝いました。

活力ある明るい地域の拠点として活用



▲公民館の完成を祝いました

地域交通の利便と安全を図る

—下吉田トンネル貫通式—

二月二十二日、美山町下吉田地区で「下吉田トンネル」の貫通式が行われ、岸上吉治助役らが出席し、トンネルの貫通を祝うとともに、これからの工事の安全を祈りました。

トンネルは府道十九号線と十二号線を結ぶ府道泉宮脇線、全長二六五メートル、車道幅六メートルの片側一車線道路と、幅二・五メートルの歩道が整備されます。